

【南木曾町】 校務DX計画

2025年3月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	0%	0%	0%	100%
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	0%	100%	100%	100%	100%
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	0%	100%	100%	100%	100%
選択項目	5.保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計している学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%
	8.学校徴収金について、現金徴収ではなく、口座振替、インターネットバンキング等を活用して徴収金の徴収を行っている学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%
	11.児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計している学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	・職員のスキルにバラツキがあり、ICTを苦手とする職員への支援が必要 ・各市町村でシステムやツールが違うため、異動した先生の対応				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	・校務環境や校務DXの取り組みについて、近隣町村と情報共有を行い、環境の整備を推進する。				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	・校務系と学習系ネットワークの調査研究、先進的に取り組んでいる自治体の情報を収集し、望ましい校務の在り方を検討する。				